



2018年9月20日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区神田錦町一丁目2番地1
イオンリート投資法人
代表者名 執 行 役 員 塩 崎 康 男
(コード：3292)

資産運用会社名
イオン・リートマネジメント株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 塩 崎 康 男
問合せ先 財 務 企 画 部 長 戸 川 晶 史
(TEL. 03-5283-6360)

GRESB リアルエステイト評価における「Green Star」評価取得に関するお知らせ

イオンリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2018年に実施されたGRESBリアルエステイト評価において、3年連続で「Green Star」評価を取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. GRESB リアルエステイト評価について

グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク（GRESB）とは、不動産ポートフォリオやインフラ等を含む実物資産の環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）（以下「ESG」といいます。）配慮を測る年次のベンチマークで、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に2009年に創設されました。投資先の選定や投資先との対話にGRESBの評価データを活用する投資家メンバーは、現在75社以上（運用資産額18兆米ドル（約1,980兆円、1米ドル=110円で換算））に上り、日本からは株式会社日本政策投資銀行（DBJ）が参加しています。また、一般社団法人不動産証券化協会（ARES）、一般社団法人日本サステナブル建築協会（JSBC）および一般財団法人日本不動産研究所（JREI）が、GRESBの公式なサポーターとして日本国内での普及に協力しています。

GRESBリアルエステイト評価は、不動産会社・ファンドを対象とするものであり、2018年には世界で903の不動産会社、REIT、ファンド、デベロッパーが参加しました。

GRESBに関する詳細は、GRESBのウェブサイト(<http://gresb.com/>)をご参照ください。

2. 評価結果について

本投資法人は、環境配慮やサステナビリティに関する取り組みに関して、「マネジメントと方針」及び「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、3年連続で「Green Star」評価を獲得しました。

なお、同時に、総合スコアでの相対評価による「GRESB レーティング」において「3スター」の評価も獲得しています。



3. 今後の対応

イオングループでは、持続可能な社会の発展に向けたグループ全体の方針である「イオンサステナビリティ基本方針」のもと、環境面では、「低炭素社会の実現」、「生物多様性の安全」、「資源循環の促進」、社会面では、「多様な消費者課題への対応」、「公正な事業活動の実践」、「人権と多様性を重視した職場づくり」、「コミュニティとの協働」を重点課題に設定し、各課題への対応を進めることで、サステナブル経営を推進しています。また、近年、資産運用業界において、ESG 配慮の必要性が広く認識されつつあります。

これは、環境規制の強化やテナント・顧客の意識変化などを踏まえ、資産運用業務における ESG への配慮が中長期的な資産価値の維持向上のために必要不可欠であるという考え方によるものです。

本投資法人は、「商業施設等への投資を通じて人々の豊かな生活の実現と地域社会へ貢献すること」を基本理念とし、「地域社会の生活インフラ資産」への投資を通じて中長期にわたる安定した収益の確保を目指しています。

本投資法人が資産の運用を委託する資産運用会社であるイオン・リートマネジメント株式会社は、2016年1月14日に「サステナビリティに関する方針」を制定しており、こうした理念や目標を実現するため、イオングループと連携して、業務全般における ESG への配慮と、そのためのステークホルダーとの協働を図ってまいります。

以上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://www.aeon-jreit.co.jp/>